

平成 29 年度第 1 回福岡県森林環境税事業評価委員会 議事録

日時：平成 29 年 6 月 6 日（火）

13：30～14：35

場所：福岡県庁 10 階 特 9 会議室

【1 開会】

〔委員の紹介〕

- ・九州大学大学院農学研究院 教授 吉田 茂二郎 委員長
- ・特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター 代表 古賀 桃子 副委員長 [欠席]
- ・筑豊地区女性林業研究グループ 副会長 加納 恵子 委員
- ・特定非営利活動法人コンシューマー福岡 理事長 柴富 伸子 委員
- ・福岡県漁協女性部協議会 副会長 畑中 美津子 委員
- ・福岡県農業協同組合中央会 常務理事 松下 克弘 委員 [欠席]
- ・福岡県町村会 事務局長 松永 智幸 委員 [欠席]

【2 農林水産部 次長挨拶】

（農林水産部次長）

日頃から、本県の森林・林業・木材産業の振興に多大なるご支援・ご協力を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり森林は、木材の生産だけではなく、豊かな水や空気を育むことで私たちの生活を支え、心の潤いや安らぎを与えてくれるものです。

また、県土を保全し、土砂災害を防止する森林の公益的機能につきましても、その重要性が改めて認識されているところです。

このため、県では、今年 3 月に策定いたしました「福岡県農林水産振興基本計画」に基づきまして、県産材の利用拡大に取り組むとともに、森林環境税を活用した荒廃森林の再生、県民参加の森林づくりに努めているところです。

本日の委員会では、平成 28 年度森林環境税事業の実績の評価をお願いすることとしております。荒廃森林につきましては、これまでの取組により、約 24,000 ヘクタールの森林整備が行われております。整備された森林では、下層植生が増加することにより土砂の流出が減少し、水源かん養や土砂災害防止など、森林の持つ公益的機能が着実に回復されつつあります。

県としましても、このような事業の実施状況や、本日評価していただく内容につきまして、県民の皆様の理解をより一層深めるために、広く公表し、透明性の確保に努めてまいります。

【3 委員長挨拶】

(委員長)

午前中に、これまで行われた公募事業の現地を、皆さんとともに見ることができ、非常に嬉しく思います。本日の視察は、毎年広葉樹の植林を行っている団体の現場で、計画書を見ると植えるだけで、その後どうなったのか不安に思っていました。平成26年、27年、28年と3カ年の植林した現場を視察し、植林後も市がフォローをして施業しているということを確認できました。場所の違いによって、広葉樹の成長が大きく違うとはいえ、3年経っても、あまり大きくなっていないので、長い目で見て、木を育てなければならないと考えた次第です。

環境税の事業がそれに対応して、着実にコンスタントに続いていくことに対して評価していかなければならないと感じたところです。

〔資料確認〕

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1 「平成28年度森林環境税による事業の実績」
- ・ 資料2 「荒廃森林再生事業の市町村別実績」
- ・ 資料3 「平成28年度荒廃森林再生事業の実施例」
- ・ 資料4 「荒廃森林再生事業の効果調査の結果」
- ・ 資料5 「平成28年度森林づくり活動公募事業の実績」
- ・ 資料6 「平成28年度森林づくり活動実施団体へのアンケート結果」
- ・ 資料7 「森林づくり活動実施団体の活動紹介」
- ・ 資料8 「県民の森林に対する理解を深める取組みの実施例」
- ・ 関係規定

(司会)

議事の進行につきましては「福岡県森林環境税事業評価委員会設置要領第6条」の規定により、委員長が務めることになっておりますので、よろしくお願いします。

【4 議事】

(委員長)

それでは、議事に入りたいと思います。

4(1)平成28年度森林環境税による事業実績の評価について、最初に「荒廃森林再生費」までの説明を事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(資料1、資料2、資料3、資料4により説明)

(委員長)

ご説明がありました。何かご意見ご質問はございますか。

今、9年目ですけれども、順調に再生面積は29,000haに近づいています。

それから松くい虫に関しても、24年をピークに収まっている状況です。

(委員)

資料4の5ページを見る限りでは、間伐5年後に一番下層植生が多く、その後、徐々に減ってきている気がしますが、また林内が暗くなってきたということですか。

(事務局)

間伐後5、6年目で下層植生はピークを迎えますが、残った木が成長し、若干林内が暗くなってくるので、下層植生が少し減る傾向にあると思います。ただし、間伐前に比べると、植生は増加しています。

(委員)

29,000haは再生できそうですか。

(事務局)

荒廃森林の中でも、一部所有者の方が自ら整備される分もありますので、そういったものを含めて、10年間で概ね再生できると考えております。

しかし、境界の問題や所有者が不確定ということで、整備に到るまでに時間を要する箇所があることも事実です。

(委員)

今年度までに100パーセント再生している市町村はありますか。

(事務局)

いくつかの市町村では100パーセント再生しています。

(委員)

農林事務所によって実績にバラつきはありませんか。

(事務局)

農林事務所というより市町村で状況が異なります。国土調査が終わっていない場所などでは、所有者が確定していないことや、境界が分からないため、そういった場所のある市町村では、進捗状況が異なります。

県としては、市町村と連携し、所有者の確定などを進めています。

(委員長)

効果調査についてですが、これまで、下層植生と相対照度の関係は成果として出ているはずなので、是非これを分析して頂きたいと思います。

それでは、再生費について、皆様のご意見をお聞きしましたので、説明して頂いたものも含め、とりまとめしたいと思います。

- ・ 荒廃森林については、平成 28 年度までの実績は 9 年間で約 23,800ha であり、着実に再生されている。
- ・ また、効果調査の結果、間伐によって植生が回復し、下層植生が生えたことにより有機物の流出が減少していることが確認できる。
- ・ 松くい虫の被害については、平成 25 年度から着実に減少しており、森林環境税で実施した対策は効果があったと考えられる。

以上が、「荒廃森林再生費」についてのとりまとめです。

では、「県民参加の^も森林^りづくり推進費」について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(資料 1、資料 5、資料 6、資料 7、資料 8 により説明)

(委員長)

今、ご説明がありました。県民参加の^も森林^りづくりについて、何かご意見、ご質問がございましたらお願いします。

参加者は着実に増えているようです。

1 つ質問ですが、最後に説明頂いた交流会や活動発表会に集まった人たちの人数というのは、この県民参加による^も森林^りづくりの中には反映されているんですか。

(事務局)

こちらについては、反映させておりません。

(委員)

参加者にアンケートを取られてますけど、これは総数が何名に対してかわかりますか。

(事務局)

28年は15,916名の参加者に対し、2,775名にアンケートにご協力いただきました。

(委員)

30代40代の子育て世代の方が、3割も参加されているということは非常にいいことだと思います。また、18歳未満の参加者が22%と非常に多いように感じます。

(事務局)

30代から40代の方々が、子どもたちを連れて来られ、小さい子どもたちにも緑の大切さを理解して頂くという点では、非常に参加状況がいいと思っています。

(委員)

各団体が活動をするときに、森林環境税について団体からPRされていますか。

(事務局)

環境税をPRするためののぼり旗やリーフレットを活用して、PRして頂いています。

(委員)

団体に若い人が入ってこない、先ぼそりになってしまう気がします。

(事務局)

団体によっていろいろな状況があることは理解しています。こうした活動を、幅広く続けていくために、県としても考えていく必要があると考えています。

(委員長)

それでは、意見を整理します。

- ・森林づくり活動については、9年間の参加者数が全体で約110,000人となり、1年ごとの参加者数も、平成28年度は1万5千人ということで、非常に増えている。また、活動団体へのアンケート結果より、森林を育てる気運が向上していることから、着実に成果が上がっている。
- ・県民の森林に対する理解を深める取組みについても、各種イベントの開催などに加え、森林づくり活動実施団体の活動紹介を行うなど、多様な活動が展開されている。

以上が「県民参加の森林づくり推進費」についてのとりまとめです。

全体を通して、最後にご意見ご質問ございますか。要望でも結構です。

事業が10年間と長くなりますので、アンケートや現地調査のデータ分析を是非して頂きたいと思います。

それでは、全体のとりまとめです。

- ・森林環境税がスタートして9年目で順調に事業が進んでいる。
- ・この間約24,000haの荒廃森林を再生し、下層植生も生え、森林の持つ公益的機能が回復するとともに、県民参加の森林づくり活動についても参加者が増え、守り育てる気運が向上するなど効果が見られる。
- ・以上のことから、評価委員会として、森林環境税事業の目的を達成するために、適正に利用されていると評価できる。
- ・しかしながら、荒廃森林再生事業については、最後まで100%再生に向けて、市町村と協力し、努力して頂きたい。
- ・最後に10年間の事業が全て終わったら、その具体的な取り組み内容と成果をまとめた報告書を是非作成していただきたい。

以上をこの評価委員会の全体とりまとめとしたいと思います。

それでは、4(2)その他です。何かございますか。

ご意見ご提案ないようですので、これで今日の議事を終了させていただきます。

【5 閉会】

(委員長)

今日は午前中は現地視察、午後は評価委員会と長時間にわたりご協力ありがとうございました。

(林業振興課長)

今日は午前から現地視察、昼から評価委員会ということで本当にお疲れ様でした。

先ほど委員長からもありましたように、県としては、県民からいただいた貴重な税金で、荒廃森林の再生をしっかり進めていきたいと考えておりますし、これまでの事業の成果、アンケート等の分析については、しっかり進めて参りたいと考えております。

本日はどうもありがとうございました。